

○プロスタルモン・F 注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ジノプロスト (U) dinoprost 【分類】 子宮収縮薬・腸管運動促進薬 [PGF2 α]

【単位】 ○1000 μ g/A [1mL]

【常用量】 ■腸管蠕動亢進：1回 1000～2000 μ g を輸液 500mL に希釈して 1～2 時間かけて 1 日 2 回点滴静注

【用法】 1 日 2 回点滴静注，3 日間投与しても効果が認められないときは投与を中止し他の療法にきりかえる

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 PGF2 α 製剤で消化管平滑筋に直接作用し胃腸管の運動機能を改善，産婦人科領域では分娩誘発作用・流産誘発作用を目的に使用。

【主な副作用・毒性】 喘鳴、呼吸困難、心悸亢進、血圧上昇、血圧降下、不整脈、頻脈、腹痛、下痢、鼓腸、発汗、しびれ感、口渇、発熱など

【代謝】 主に肺で 15 位の水酸基が酸化され 15-keto PGF2 α となり活性を失う。次に肝臓や腎臓で 13 位の二重結合が還元飽和されて 13,14-dihydro-15-keto PGF2 α となる。その後主に肝臓で一般の脂肪酸同様 β 酸化， ω 酸化等を受けて尿中に排泄 (1) 代謝物に活性はない (1)

【排泄】 主に腎で代謝物として排泄。糞中にも少量排泄 (U) 尿中に 55% 回収 [24hr まで] (1)

【t1/2】 1min 以内 (U) 30min 足らず [ラット] (1)

【蛋白結合率】 73% [アルブミン] (U) 71% (1)

【Vd】 組織移行性は高い (1)

【MW】 354.48

【透析性】 低いと思われる (5) データなし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない [pKa] 4.94 (1)

【備考】 気管支収縮を起こすことがある。顔面紅潮、動悸、血圧上昇及び下降、下痢、頭痛の副作用が現れることがある。

【更新日】 20150808

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。